R6

市民協働のまちづくり活動応援補助金活動集

●団体一覧

枠	団体名	活動名
市民活動団体支援	ふるさとカフェ　キッズ	アットホームなこども食堂を豊栄に
市民活動団体支援	恋まち東広島	「恋まち東広島」婚活応援と東広島市魅力発信
市民活動団体支援	心豊かなくらし会議とよさか	こころ通う会議
市民活動団体支援	市民活動団体　ハッスル	つながろう、顔の見える関係作り
市民活動団体支援	稲木夏祭り実行委員会	『広がる、つながる、地域のきずな！』第25回稲木夏祭り
市民活動団体支援	NPO法人白市町家保存会	白市町家活性化プロジェクト（①白市大市復活/②夏休みスケッチ大会/③しらいち町家アートフェス）
市民活動団体支援	志和堀フットサルクラブ	旧志和堀小学校体育館の有効活用のための環境整備
市民活動団体支援	東広島里親サークルNanjaMonja	みんなで子育て　ええじゃん里親プロジェクト
市民活動団体支援	パピコ	パピコ★フェスティバル
住民自治協議会支援	中黒瀬住民自治協議会	中黒瀬ふれあいマップ（名所・旧跡）案内看板設置事業
住民自治協議会支援	志和堀小学校区住民自治協議会	堀でぇ　産直市
住民自治協議会支援	西志和まちづくり自治協議会	みんなで集まろう　西志和夏まつり2024
学生団体支援	広島シオジ会	東広島市ブールバール周辺の整備
市民活動団体支援	三永まちづくり隊	三永まちづくり隊
市民活動団体支援	こすもす広場（資料なし）	みんなの居場所×地域交流の場づくり
市民活動団体支援	こども夢拾い	☆わくわく☆こども夢拾い
市民活動団体支援	きよさんガーデンプロジェクト	『心のバリアフリー』みんなで助け合えるまちづくり
市民活動団体支援	∞の輪プロジェクト	∞の輪マルシェ
市民活動団体支援	東広島市防災士ネットワーク	学んで広めよう！防災イベント開催
市民活動団体支援	特定非営利活動法人　地域福祉活動支援協会　人間大好き	地域の子ども園と高齢者が共に手をつないで、防災までつながる交流をつくろう
住民自治協議会支援	東西条地区住民自治協議会	住民自治協議会創立10周年企画事業イベント（東広島市制50周年記念事業）
住民自治協議会支援	東志和小学校区住民自治協議会	志和の中央にそびえる”生城山の観光地化”計画
学生団体支援	自然体験活動サークル学びの里	自然体験学習
連携活動支援	乃美別府住民自治協議会	パンフレット「ハンザキの棲む里：豊栄のオオサンショウウオ」の作成
連携活動支援	豊栄地区まちづくり推進連絡会	豊栄町健康マージャン教室
連携活動支援	高屋町南部地域野生動物問題連絡会	情報の提供・相互交換による有害鳥獣予防対策並びに啓蒙活動、同支援
連携活動支援	西条住民自治協議会　国際交流部会	西条地区住民と広島大学留学生との交流会
連携活動支援	暮らしのひとくちめ×ベジラボ	子育てへの「安心・楽しみ」創出のための、東広島市官民子育て情報一元化マップの作成
連携活動支援	（一社）健康づくりEネット東広島　東広島健康づくりウォーキング友の会	健康づくりウォーキングの充実（ウォーキングコース＆健康体操：地域間連携事業）
継続活動支援	次世代による東広島の原爆体験継承ネット	次世代による東広島の戦争、原爆体験継承

ふるさとカフェキッズ

アットホームなこども食堂を豊栄に

市民活動支援枠

活動内容

地域の方や社協・フードバンクさん等から様々な食材の提供を受け、季節の野菜を中心に温かい食事を作り、毎月第4日曜日に「ふるさとカフェキッズ」で地域のこども達や保護者に提供。食後は知育玩具・絵本コーナー・季節の工作等アットホームな触れ合い時間も設けている。社協の方・保健師さん・子育てサポーターさん・地元の高校生など様々な地域の方にも協力してもらいながら活動をしている。

補助金の使い道

●消耗品費（衛生用品・お盆・ランチプレート・カトラリー等）●原材料（こども食堂の食材や工作材料）●印刷製本費（チラシ印刷代）●ボランティア活動保険代●報償費（工作講師）●会議費

達成できたこと

・季節の野菜を核にして、食の魅力を伝えることが出来た。
・こども達の居場所、保護者同士の交流場所、そして地域を巻き込んだアットホーム　なこども食堂として定着しつつある。
・里帰り枠を設けるなど、「ふるさと豊栄」への思いを改めて感じてもらえる場所。

今後チャレンジしたいこと

地域へのより広い周知のための活動、並びに活動継続のための収益活動
（例：地域のイベントで広報活動＆バザーなど）

舛木（090－4147－1460）

恋まち東広島

「恋まち東広島」婚活応援と東広島市魅力発信

市民活動支援枠

活動内容
東広島在住である構成員が、結婚を希望する若者を対象に、地域の店舗や施設において、婚活イベントを開催することで出会いの場や機会を提供する。イベントにて、マッチングを行う事で交際のきっかけ作りとし、今後に繋がるようにお引き合わせ・その後のフォローとして、交際や結婚に向け相談や悩みを聞くなどし、伴走型支援を行う。また婚活への意識啓発やアドバイスも行い、マッチングしない人への支援も併せて行う。

補助金の使い道
イベント開催と、それまでの運営会議や、必要なグッズ（イベントで使用する名札や、東広島市に興味を持ってもらうための配布物）作成のための消耗品。

達成できたこと
3回のイベント開催で、12組マッチング（①男女各12名：マッチング3組、②男女各8名：マッチング4組、③各男女12名：マッチング5組）マッチングカップルに対して、その後のフォローとして、交際や結婚に向け相談や悩みなどの伴走型支援を行っている。

今後チャレンジしたいこと
東広島市内にある様々な店舗や施設に協賛・協力頂きながら婚活イベントを行い、その中で東広島の魅力・新たな発見をアピールしていき、カップルに東広島に興味を持ってもらい結婚、あわよくば東広島へ移住してもらい、出産・子育てと、少子化を少しでも改善出来ればと思う。

心豊かなくらし会議とよさか

こころ通う会議

市民活動支援枠

活動内容

人口の半数以上が65歳以上と高齢化が進む豊栄町において、喫緊の課題は地域で共に生きていくことができる社会、安心して日常生活を送ることができる社会が形成されることにあります。そのため、住民自らが様々な地域生活課題を解決する手法や健康や生きがいについて学ぶ場が必要と考え、市民主体による自主運営組織「心豊かなくらし会議とよさか」を設立し、毎月1回講演会を開催しています。

補助金の使い道

地域課題の解決と生涯学習をテーマとして毎月講演会を開催しました。参加者は豊栄町を中心に広く呼びかけ自由参加としております。講演タイトルは「移動販売とくし丸とは」「仏壇のあれこれ」「被爆者の話を聞いて平和について考える」「歯の健康と口腔ケア」「認知症予防講座」「健康寿命を延ばす食べ物」「悪質商法にだまされない」「長寿の秘訣」など。

達成できたこと

豊栄町から市の中心部の西条町まで行かなくても貴重なリアル講演会を豊栄町で開催することができました。
豊栄町の住民のニーズに応じた講演会を開催することができました。
運営委員や参加者同士相互扶助の関係を育む人的ネットワークが出来つつあります。

今後チャレンジしたいこと

豊栄町内の6つの自治協にある福祉部会の部会員もこの活動に参加していただき、運営委員の世代交代が起きても組織として活動が維持できるような体制を構築していきたい。

090-3894-5812
y.takahashi1603@gmail.com
高橋百合子

市民活動団体ハッスル

つながろう、顔の見える関係作り

市民活動支援枠

活動内容
①にじいろカフェ　御薗宇小学校地区の住民を巻き込んで子供café、出会いcafe等を開催②おさがり会　まだまだ使えるものを次の人へバトンタッチする活動　③畑クラブどーなつ　空いた畑を借りておしゃべりしながら野菜作り畑地域の人達とつながりを作る活動

補助金の使い道
イベントの講師代、場所代、参加者の飲み物代。事務に係る経費。畑活動に必要な農具、原材料。ボランティアの方たちとの打ち合わせ時の食事代等。

達成できたこと
ハッスルの名前、活動を認知してもらう事が出来た。御薗宇小学校区住民自治協議会に活動を認められ、ハッスルが組織の一団体として認められて連携し活動をすることが出来た。たくさんの人とつながり、たくさんの相談を受け解決に導く事が出来た。また、私たちの相談に乗っていただき解決することが出来た

今後チャレンジしたいこと
今年は、国際交流も積極的にチャレンジしたい。

090-8068-1492
Instagram　市民活動団体ハッスル

稲木夏祭り実行委員会

『広がる、つながる、地域のきずな！』
第25回稲木夏祭り

市民活動支援枠

活動内容
昔からある集落と中小団地が混在する稲木地区で、住民間のつながりを深める交流の場を作ることを目的としている。
企画運営を稲木地区の住民が所属する稲木夏祭り実行委員会が行っている。

補助金の使い道
原材料費・レンタル設備費・印刷代・各種消耗品等に使わせて頂きました。

達成できたこと
・第25回稲木夏祭りを盛況に開催できた。（参加者約740名）
・地域や団地ごとにゲームコーナー・バザーを担当して頂き、顔の見える関係を築けた。
・社会福祉法人様にバザーコーナーへ出店して頂いた。
・審査会で提案された中高生ボランティア及びキッチンカーを採用した。

今後チャレンジしたいこと
・大学生ボランティアとの連携を強化し、子どもたちに楽しんでもらえるような夏祭りを計画したい。
・夏祭り開催で培ってきた地域の絆を様々な活動に結びつけて行きたい。

中本宏利（090-4102-0843, nakamotoke2003@yahoo.co.jp）

NPO法人 白市町家保存会

白市町家活性化プロジェクト
①白市大市復活/②夏休みスケッチ大会
③しらいち町家アートフェス

市民活動支援枠

活動内容
白市町家保存会のメンバーが、白市の文化財を生かしたまちづくりのために、各イベントの実行委員会を組織し、
① 白市むしろ鳥居まつり復活(令和6年6月1日)② 夏休みスケッチ大会(令和6年8月 17日)③白市町家アートフェス(令和6年11 月17日～24日)を開催した。

補助金の使い道
イベント周知のためのポスター、チラシの印刷製本費、イベントの際に白市の登録有形文化財の前に飾る迎え花代、その他の材料費、会場使用料、イベントの際に毎回必要な PA 機材を購入。

達成できたこと
白市むしろ鳥居まつりでは白市近郊住民1500 人が参加。夏休みスケッチ大会は高校生以下 30 人、しらいち町家アートフェスは2000 人が参加し、白市の魅力が東広市内外で知られるようになり、活動人数も増えた。

今後チャレンジしたいこと
白市の歴史を生かしたまちづくりとして、空き家となった町家を再生し、地元住民の交流の場をつくると同時に、移住者やインバウンド客の受け入れの可能性を探りたい。

shiraichimachiya@gmail.com
https://www.facebook.com/profile.php?i

志和堀フットサルクラブ

旧志和堀小学校体育館の有効活用のための環境整備

市民活動支援枠

活動内容
現在、廃校となっている旧志和堀小学校の体育館を地域活性の拠点として活用するため、まず 地域住民に体育館の存在と利用可能性を周知することを目的に、月1回のフットサルクラブを立ち上げました。今後は電気・水道などのインフラ整備を進め、より多目的に活用できる場所を 目指しています。

補助金の使い道
補助金は、まず子どもたちが安心してプレーできる環境を整えるために、フットサル用のゴールを購入する 費用として活用しました。その後、ボールやビブス、マーカーなどの備品を揃え、クラブとして継続的に運営できる体制を整えるために使用しました。安全性と継続性を重視し、地域に根ざした活動づくりに活かし ています。

達成できたこと
月1回の開催で、13～30名ほどの親子が集まる機会をつくることができ、他団体や地域家族の運動利用も生まれ、活用の第一歩となりました。

今後チャレンジしたいこと
現在は個人管理の鍵を、今後は鍵ボックスの導入などにより、誰もが安心して利用できる仕組みを自治会と協議し整備したいです。

hirotaka.nagahama@gmail.com

東広島 里親 サークル NanjaMonja

みんなで子育て ええじゃん里親プロジェクト

市民活動支援枠

活動内容

①里親制度の啓発活動として、「里親ってカフェ」の開催（月一回程度）や住民自治協議会と連携した周知（5月及び8月）、里親の映画上映会&ミニトーク会（2月）などを行った。

②ピアサポート活動では、月1回程度、登録里親が集まって交流をするサロンを実施し、ミニテーマを設けてお互いに学び合う時間を持ち、スキルアップを図った。

③里親ショートステイの啓発と推進として子育て支援施設で里親ショートステイの啓発を行った。また、有償ボランティアを呼びかける合同説明会（ゆめタウン東広島）に参加し、NPO法人陽だまり、ファミサポとともに、普及活動を行った。

補助金の使い道

・里親制度啓発チラシや里親ってカフェのチラシを作成・印刷し、地域の回覧板や保育所、幼稚園、子育て支援センターなどに広く配布した。

・東広島芸術文化ホールくららで、「里親の映画上映&ミニトーク会」を開催し、東広島市教委の協力を得て市内の全小中学校へのチラシ配布をしたほか、中国新聞やプレスネットへの記事の掲載などの広報を行い、当日は約100名の来場があった。

・里親ショートステイの先進地である福岡市を訪問し、福岡市行政やNPO等の取り組みを学び、自らの活動に生かすとともに、市の担当者とも共有する機会を持った。また、業者に依頼して里親ショートステイの啓発パンフレットを作成した。

達成できたこと

住民自治協議会、子育て支援施設、ファミサポなど地域の団体と連携することで、地域で必要な方に里親ショートステイの情報提供をしてもらえる機会が増えた。また、上映会等を通して里親に関心がなかった方にも制度について知ってもらえる機会となった。

今後チャレンジしたいこと

里親委託数やショートステイ利用の増加には、里親の絶対数の増加が不可欠であり、里親制度を管理する広島県やショートステイの実施主体である東広島市と連携した取り組みが必要となる。里親当事者で構成するサークルの強みを生かした、より効果的な広報を模索しながら継続していきたい。

nanjamonja.higashihiroshima@gmail.com
nanjamonja_higashihiroshima
（インスタグラム）

パピコ

パピコ★フェスティバル

市民活動支援枠

活動内容
パピコは月に3回ダンス、月に2回表現のレッスンを開催しています。これまでイベントに出演はしてきましたが、今回は、東広島市市民協働のまちづくり活動応援補助金をいただき、パピコ主催で日頃のレッスンの成果を発表する「パピコ☆フェスティバル」を開催しました。
一般からも参加者を募集し普段のダンスレッスンを体験してもらうワークショップを開催、また一般参加の保護者向けの座談会を開催し、ご好評をいただきました。

補助金の使い道
補助金は、主に発表会の場所となった、福富町道の駅ホールの会場費、付帯設備費、講師への謝礼、撮影委託費に充当しています。
補助金をいただいたことで、舞台のあるホールで照明付きで開催することができ、本格的な舞台になりました。また撮影もプロのカメラマンに委託し、「パピコ☆フェスティバル」の様子の入ったDVDを作成、後で見返したりはもちろん、遠くて来ていただけなかった方にお見せしたりすることができました。

達成できたこと
一般の方にも参加できるイベントとして開催し、「パピコ」の魅力を知ってもらうこと、また、パピコのメンバーがこの経験を元に、パフォーマーとして大きな自信をもってもらうことを狙いとしました。当日の楽しそうな堂々としたメンバーの様子を見ると概ね達成できたと思っています。

今後チャレンジしたいこと
パピコは今年も補助金をいただき、今年は「パピ★コレ～パピコ写真展＆ファッションショー！」を開催します。パピコのメンバーをプロのカメラマンが撮影し展示、パピコメンバーと一般参加者による「パピコ★コレクション」略して「パピ★コレ」を開催します。

papico.saijo@gmail.com
SNS：
https://youtube.com/channel/UCVSd6IqtfzCQ_K5qh8R9WkQ?si=VC5OsLC8yppqZaaf

中黒瀬住民自治協議会

中黒瀬ふれあいマップ（名所・旧跡）案内看板設置事業

住民自治協議会支援枠

活動内容

中黒瀬ふれあいマップに記載している36か所の名所・旧跡ごとにそれぞれ案内看板1.0式を製作し、これらが所在している区長（9区長）に対しそれぞれの看板を現地に設置
看板設置数：36か所
看板設置日：令和6年10月17日～12月9日（各区長の設置実績）

補助金の使い道

案内看板及び案内看板用支柱製作費36セット（外注）

達成できたこと

マップを活用したウォークは、中黒瀬地域内の幅広い年齢層の誰もが、好きな時間帯にマップに記載している名所・旧跡を選択し目的地域に向けたウォークチャレンジとなることから、中黒瀬地内の名所旧跡の案内看板から知ることができる知識は老若男女（児童～高齢者）を問わず共通の話題となり、更なる出会いの拡大等相乗効果が期待できる。

今後チャレンジしたいこと

年1回は自治協イベントとして「中黒瀬探訪　～名所・旧跡を訪ねて～」を開催し、ふれあいマップの活用促進を図るとともに、これらの施設巡りのガイドは案内看板が代役できる。また、個々の日ごろからの健康ウォーキングの目的地してマップ施設が選択されることを期待しており、看板設置は、中黒瀬の新たな発見となる効果発現が期待できる。

中黒瀬住民自治協議会事務局
0823-27-7727（月水金午前中開所）

志和堀小学校区住民自治協議会

堀でぇ　産直市

住民自治協議会支援枠

活動内容
少子高齢化が進む志和堀地域で、活気を取り戻すため、志和堀のまちづくりの一環として、志和堀住民自治協議会で「堀でぇ産直市」を行っている。主に志和堀地域センターを会場として、毎月第3日曜日の午前中に開催している。令和6年度開催の内3回は拡大版として、お寺のマルシェや地域センターまつりとのコラボ、「産直市感謝祭」を行った。また、毎回無料のカフェコーナーを設けて、地域の方が交流できる場としている。

補助金の使い道
ステージ発表の出演者への謝金や、チラシ等のコピー代。
事務用品やカフェコーナーの紙コップ代、カフェコーナーのお菓子、飲み物代、会議用のお茶、屋外開催用の簡易テント、机、椅子、産直市で使うものを収納するための屋外倉庫などの購入費。

達成できたこと
地域住民が作った野菜や加工品、手作りの品物などを販売する機会を定期的に提供できた。地域内外の人が気軽に出店したり、買い物に来たりする場になった。来場者（お客さん）も回を重ねる毎に増加し、「地域の賑わいの拠点・交流の場」となった。

今後チャレンジしたいこと
出店者や商品の種類を増やし、より多くの人に喜んでいただける産直市にしていきたい。将来的には、「子ども食堂」や「地域食堂」の取り組みにつなげられるように進めていきたい。

090-4101-7727（中西）
インスタグラム　堀でぇ産直市
https://www.instagram.com/shiwahori_holiday/

西志和まちづくり自治協議会

みんなで集まろう
西志和夏まつり2024

住民自治協議会支援枠

活動内容
盆の帰省客等みんなに集まってもらい、盆踊りを実施し、老若男女の交流の場を設ける。そして、地域の行事等に参加してもらい、地域の活性化を図ることを目的とする。

補助金の使い道
参加者の抽選券の商品代、イベントの芸人に対する報償費、踊りの指導料、ぼんぼりの借料、発電機借料、司会者、企画等料

達成できたこと
1000人程度の参加者があり、盛大に実施できた。特に若い人が多く交流の場となった。平素会うことがない人との交流は、今後地域の活性化に役立つことが予想される。

今後チャレンジしたいこと
志和には歴史資料となる多くのものが存在しているので、これらを活用して更に地域活性化を図りたい。長者山、海軍山、生城山、古い仏像、小寺があり歴史の散歩道として、活用を図りたい。

090-9730-4146

広島シオジ会

東広島市ブールバール周辺の整備

学生活動支援枠

活動内容

広島大学で学生ボランティアを募集し，東広島市ブールバール周辺において特定外来生物であるオオキンケイギクの駆除活動を6月と2月の計5回行った。また、10月から12月にかけてブールバールに植栽されている樹木の調査を実施した．これらの環境の保全及び整備や調査などの活動を通じて自然環境や外来生物の理解促進や教育普及活動を行った。

補助金の使い道

補助金は，駆除活動や植物調査に必要な資材（軍手・ばさみ・袋など）や備品（リアカー）購入に充てた．加えて特定外来生物の駆除に必要な設備を整えるための資材を購入した。また、参加した学生ボランティアへの飲料提供や熱中症対策など、活動運営に必要な費用として活用した。

達成できたこと

特定外来生物の駆除についてのべ52名が参加し、一定の効果が見込める活動ができた。また、外来生物に関する理解を深める機会の提供が期待できる事業となった。身近な植物に関する知識を得る機会を提供することができた。

今後チャレンジしたいこと

特定外来生物の駆除活動について継続的な活動を行っていきたい。また，今回活動を行った場所以外の場所や他の外来生物についても対策・活動を行っていきたい。加えて特定外来生物の駆除活動について携わることのできる人材の育成にも力を入れたい。

hnakamurabio@gmail.com

三永まちづくり隊

三永まちづくり隊

市民活動支援枠

活動内容
当地域は交通量の多く、それと共にポイ捨てゴミが目に余るものがあった。そこで、ポイ捨てゴミ啓発看板の設置と、ポイ捨てゴミ収集と除草。そして、四季折々のプランター花の設置をした。

補助金の使い道
安全ジャケットの製作、ポイ捨てゴミ啓発看板の製作とポイ捨てゴミ収集と除草。そして四季折々のプランター花の設置。

達成できたこと
交通量の多い場所での活動ですが、安全を考慮し事故もなく活動できた。通行の方から称賛の声をいただいた。地域の方から「最近ポイ捨てのゴミが少なくなったね。」との声を聞きました。

今後チャレンジしたいこと
この活動は継続していかなければならないのが、プランター花の設置等、活動資金が必要です。幸いにも地元企業から寄付金を頂きましたが、市役所から永続的な援助をお願いしたい。

こども夢拾い

市民活動支援枠

☆わくわく☆こども夢拾い

活動内容

どなたでも参加でき、道路や駐車場などに落ちているゴミ(夢)を拾う清掃活動です。

【活動内容】
日時:毎月第3土曜　朝7:00～8:00
場所:あすなろベーキングカンパニーさん(土与丸店)
当日のスケジュール:
朝礼(ミッションの唱和・集合写真)
ゴミ拾い(各自自由に好きな場所を散策)
ゴミの分別
終礼(よいとこ探し、感想)
活動後、あすなろさんでの朝食・交流(自由参加)

【活動目的】
1)子ども達を中心に
①自分たちの住んでいる地域を自分たちできれいにする。②地域愛を育む。③仲間を作る。
2)子どもたちを支える保護者や地域の方との交流を深め、地域の居場所を提供する。

補助金の使い道

・ゴミ拾い自体を楽しめるようなツールの購入
　子どもが掴みやすくカラフルなゴミ拾いトング
　溝やフェンス越しなど遠くにあるゴミが拾えるマジックハンド
　かわいいゴミを入れるバケツ
・参加した時のお楽しみ用のスタンプカード一式
　かわいいスタンプカード、スタンプ、インク
・活動参加者への飲み物の提供
　大人から子どもが楽しんで選べるように多種のドリンクの提供
　環境を意識し、紙パックのものを中心に選出
・3周年記念イベントを盛り上げ・交流を深めるため費用
・イベント会場費
・子供から大人でも楽しめるアナログゲームの購入
・ゲームの景品や参加賞

達成できたこと

新しい道具の選択・活用でゴミ拾い自体の楽しみの向上
・スタンプカードによる参加モチベーションの向上
・3周年記念を盛り上げ(ゲーム・景品の購入)
・東広島FMへの参加と活動内容の周知
・新規に地域の企業・団体に活動協力頂き、活動の実施。
ショージ R375バイパス店さん、西条あおい保育園さん、
東広島市総合福祉センターさん

今後チャレンジしたいこと

・活動をより楽しく、盛り上げていくために他団体と協力していきたいです。特に東広島は学生さんも多く、子どもたちに年齢も近い若い方の力を借りて、子どもたちが喜ぶようなイベントを開催したいです。
・安全面を配慮し、活動保険の導入を検討しています。

吉盛寿未
hk262dp@gmail.com
090-7898-8720
Facebook:
https://www.facebook.com/hisami.kurisu

活動内容

車いすイベントを主催して車いす目線での移動について理解を深めてもらう。これを通じ、市民や子どもたちに「サポートできる」という意識を伝え、健常者と障がい者の心のバリアフリーを推進する。最終的には、障がいの有無に関わらず誰もが自然体で助け合い、笑顔で暮らせる共生社会の実現を目指す。

①車いす体験イベント
②講演会（体験談）
③情報発信（ホームページ制作）

補助金の使い道

【車いす体験イベント】…体験用のマットや簡易スロープ・チラシ・スタッフTシャツ・幟旗・啓発グッズ
【情報発信】ホームページ…制作
【配布用】リーフレット・クリアファイル…作成

達成できたこと

市民や子供たちに「サポートできる」という意識を伝え障がいの有無に関係なく、誰もが助け合える。障がい者に関心を持ち、車いすの操作の大変さと声のかけ方などサポートについて、イベントを通じて理解いただけました。

今後チャレンジしたいこと

形に表すことが難しい事業です。一人一人の心が動かなくては形にならないので、今後も地道に活動を継続しながら、心の輪を広げていきたいです。賛同して一緒に活動する仲間を増やし、色々な角度から体験会やイベントを開催していけたらと思います。体験談の絵本や紙芝居の制作も考えています。

https://kiyo3garden.studio.site/

∞の輪プロジェクト

∞の輪マルシェ

市民活動支援枠

活動内容
八本松町を拠点とした活動として、∞の輪マルシェを企画・開催した。マルシェ開催に向けて、地元小学校や企業等と連携した会場づくりワークショップの実施等を行った。コミュニティの希薄化や地域との関わりが減退する中、テーマ型の団体がテーマ的活動を軸に、新たな関わり手の発掘や活動への参加をイベントとして作り出すことで、まちづくり活動への参加のきっかけをつくっていくことが大きな目的である。

補助金の使い道
補助金の主な使途は、会場レイアウトとして、「ベンチ」「飾り付け（看板等）」「アスレチック」の製作費に充てた。

達成できたこと
想定を超えるイベント来場者数（450人程度）であり、イベント自体の成果は大きなものであった。また、活動を通して自治会長や地元企業との連携やネットワーク促進を図ることができた。地域資源を活用した取り組みとして、地域共生社会に取り組むための大きな一歩となった。

今後チャレンジしたいこと
今後も八本松/∞の輪プロジェクトにおける目印的位置づけとして継続していきたい。中長期的には、福祉施設や企業の連携も行いながら、∞の輪プロジェクトの活動を通して、多数の人が関わることで、地域で活動する人材の発見・育成に展開していく。

080-5238-2669

東広島市防災士ネットワーク

学んで広めよう！防災イベント開催

市民活動支援枠

活動内容

11月3日に東広島市消防局で開催された「2024消防・防災フェア」に、ブース「防災カラダづくり」を出展。来場者数は、フェア約9000人、ブース約700人。「健康そーらん®」コーナーでは、外部講師が、健康寿命を延ばして防災力をアップできる、防災ダンスを指導。「サバイバルチャレンジ」コーナーでは、外部講師が、火起こしや水ろ過の体験を指導。

補助金の使い道

外部講師（株式会社広島元氣いっぱいプロジェクト、株式会社INOSHISHIYAH）、外部ボランティアスタッフへの謝金、展示ポスターなどの印刷、イベント来場者への景品などの消耗品。

達成できたこと

準備段階から会員が「新しい」防災手法を学び、イベント会場で、来場者「ひとりひとり」に「体験型」でご紹介することで、参加者の防災力をその場で強化できた。実施後に、外部講師のご入会や、会への問い合わせの増加などがあり、当会の活動の幅が広がった。

今後チャレンジしたいこと

今回会員が得た知識や技能を、各地域の防災事業に活かしていく。外部講師や会員の様々な特技をテーマに、日時や場所を自主的に企画した防災イベントを開催する。市の防災機関との連携をさらに深める。

hhiroshima.bosaishi.nw@gmail.com

特定非営利
活動法人
地域福祉活動
支援協会
人間大好き

地域の子ども園と高齢者が共に手をつないで、防災までつながる交流をつくろう

市民
活動
支援枠

活動内容

みょうとくこども園、八本松みづきこども園の年長さん、川上小学校3年生のみなさん、デイサービスつむぎ、デイサービス明日への風、看護小規模多機能型居宅介護つむぎ、あったかい家の高齢者が数名ずつ、計12，3人、それぞれのスタッフが、それぞれのこども園3回ずつ計6回、プロの指導者のもと音楽交流会を開催。他にハロウィーンのイベント、近隣の子どもたち150名以上の参加を得てのスタンプラリー形式の肝試し大会、川上小学校3年生の方々と高齢者の交流、そして協働防災訓練を開催した。

補助金の使い道

音楽交流に三次からプロの指導者と助手の方を招いてなので、講師料と交通費がかなりかかった。それときもだめしを広く知ってもらうために、ちらし印刷費、新聞広告費等がかさんだ。あとは資料印刷やボランティアさんへの交通費、きもだめしの衣装代、きもだめし当日の夕食の食材費、スタンプラリーに必要な物品購入、楽器の補充、切手などの通信費がかかった。きもだめしが真っ暗なので、太陽光ライトを購入した。コロナがまだ蔓延している時期もあったので、消毒薬を購入。参加時のお茶とハロウィーンのお菓子を購入した。

達成できたこと

単なる音楽交流はなく、自然体、かつ質の高いものを提供できた。毎回内容を季節に合わせてやっていただいた。また思いがけずこども園さんからハロウィーンのお誘いを受けた。きもだめしは数年ぶりで10回めだったが、沢山の子ども、親子の参加があって、とても楽しい思い出づくりをしていただいた。お化けも高校生から一般、民生委員さん、外国人と多彩な参加だった。防災訓練も高齢者と子どもたちが自然にまざりあっていくことができた。

今後チャレンジしたいこと

来年はできなくても再来年また同じように実施したいし、お金の部分が解決すれば、今年も行いたいと考えています。継続していきたいです。内容はほとんど同じものでもきもだめしのお化けの参加者を広げていきたいです。

080-6322-5619　渡邉
kyotakutumugi@life-care-takasago.jp

東西条地区住民自治協議会

住民自治協議会創立10周年企画事業
イベント（東広島市制50周年記念事業）

住民自治協議会支援枠

活動内容

事業の目的は「地域のつながり・絆づくり」を目的に行います。近年多くの団地やマンション建設により自治会加入のできていない方々、当東西条の住民自治協議会理念「人と歴史が緑を醸す笑顔と交流のまち東西条」を浸透させ、「明るく楽しく元気なまち」づくりの一助になる事業を目指します。

補助金の使い道

・報償費（司会・救護）
・印刷製本費（コピー代含む）（イベントチラシ・プレスネット折込み料）
・使用料及び賃借料（体育館スポットクーラー、冷蔵庫）
・委託料（舞台用・ステージトラック、シャトルバス、仮設トイレ3基・リース代）

達成できたこと

近年多くの団地やマンション建設により、自治会加入されていない方々に当住民自治協議会の理念や存在を認識して頂けました。竹とんぼ同時飛ばしの日本記録更新という連帯感の中で、参加者1,014人が来場した。その後の反省会で、「次回事業への参加が見込まれる」という意見がありました。

今後チャレンジしたいこと

案はありますが、検討中です。

折羽　邦彦
090-7505-5080

東志和小学校区住民自治協議会

志和の中央にそびえる ”生城山の観光地化”計画

住民自治協議会支援枠

活動内容

我が故郷志和町の中央部に位置する生城山は長年の荒廃の時期があり、以前あった登山道も手つかずの状態でした。そこで、東志和住民自治協議会が中心となり、地元の3自治協に声をかけて共同で『地元に親しまれる山にしよう！』と昨年立ち上げました。資金面できっかけになったのはこの補助金であり、地元企業に協賛をお願いしたところ多くの協賛金を頂けることが出来ました。それらを使用して登山道の整備及び頂上部の草刈りや頂上からの景観を保つ雑木林の伐採を行いました。

補助金の使い道

補助金の主な使い道としては　①景観確保のための雑木林の伐採（業者委託）　②登山道整備のための擬木階段・ロープの購入　③安心・安全な登山道のための案内板の制作・設置　④実行委員会設立・運営のための諸費用　⑤活動参加者への日当

達成できたこと

この計画は令和6年～8年までの3年間の計画です。令和6年に達成できたこととして主な事は　①頂上からの景観づくりとして雑木林の伐採は4方向の内2方向（西志和、志和堀方向）が終了　②擬木階段設置は60段（80段購入）設置完了　③登山道の案内板及び史跡看板の設置終了　④実行員会の全メンバー（24名）のライングループを作り進行状況の意識の統一　④登山者の増加と登山イベントの実施

今後チャレンジしたいこと

16世紀の戦国時代には生城山には天野氏の居城があり、周辺には大内氏・尼子氏・毛利氏など歴史ロマンあふれる山城であったことは聞いています。これらのことを登山者及び子供達に語れる『歴史の語り部』の育成と安全・安心の登山ができる山として皆さんに親しんでいただける山にしたい。主な登山ルートは4通りあり、どの道も上りで50分、下りで30分程度の行程です。

東志和地域センター　082-433-2922
東志和住民自治協議会　会長　金原寿弘（個人）090-2805-9000

自然体験活動サークル学びの里

自然体験学習

学生活動支援枠

活動内容
2024年3月まで、自然体験学習会を主催していた。自然体験学習団体学びの森の先生として小学生3～6年生を対象に月に1度活動してきました。内容は自然観察、野菜作り、木工など多岐にわたっていましたが、都合により2024年4月に閉鎖されました。その後拠点を移して、以前のような安全を確保したうえで自然体験学習会が実施できるように学びの里の構成員が活動場整備を行い、環境整備しています。

補助金の使い道
活動の拠点となる小屋、倉庫づくりの際の材料費および備品購入
野菜の苗、種、肥料、その他の農業用道具の購入

達成できたこと
自然体験をする際の拠点となる小屋を作ることができました。また、畑の整備を進めることができ、冬野菜を収穫しました。また、環境整備の活動は、主体性や協調性、問題解決能力を育むことに役立ち、2025年度以降の小学生を対象とした自然体験活動会での基礎知識が得られました。

今後チャレンジしたいこと
今年の夏に小学生を対象とした自然体験活動会を計画しています。そこでの反省点や課題点を段階的に解決していくことで、以前のような月に1度の自然体験活動を再開したいです。自然体験活動を通して、こども達の成長に関われるような団体になることを目標にしています。

Instagram:@hu_manabinosato

乃美別府住民自治協議会

パンフレット「ハンザキの棲む里：豊栄のオオサンショウウオ」の作成

住民自治協議会支援枠

活動内容

水源の町「豊栄」は国の特別天然記念物に指定されている『オオサンショウウオ』の生息地・繁殖地として知られている。しかし、生育環境の悪化から個体総数も減少し、今や絶滅の危機に瀕している。そこで、オオサンショウウオのおかれている現状を広く知っていただくため、乃美別府住民自治協議会（事務局：乃美地域センター）が広島大学総合博物館との連携のもと、広報活動の一環として活動名に記したパンフレットを作成した。

補助金の使い道

・印刷製本費：490,000円　（株）セイカイに依頼
・会議費：10,000円（お茶200円×10人×5回）

達成できたこと

令和2年3月、乃美地域センターに「オオサンショウウオの宿」が開所。調査で見つかった痩せた個体や傷ついた個体の保護活動に従事している。開設来5年間、施設には延べ6,000人の出入りがあった。見学希望者も多く、管理責任者の説明に加えて、パンフレットは豊栄のオオサンショウウオの実態理解の一助となり大変喜ばれている。

今後チャレンジしたいこと

豊栄町は過疎化が進み、保護に取り組む団体のメンバーの高齢化が課題となっている。
地域としては三面コンクリート張りの河川環境で、川が増水する度にオオサンショウウオが流される環境の改善（隠れ家となる護岸・堰を移動可能となるスロープの設置）を訴え、地域の宝物を守る取組みを推進してゆきたい。

豊栄地区まちづくり推進連絡会

豊栄町健康マージャン教室

連携活動支援枠

活動内容
高齢化率が50%を超え人口減小は避けられない中で、どうやったら「豊栄町で人生を過ごして良かった」と思ってもらえるかを考えた場合、より良い人間関係を作ることができれば、過疎地の豊栄町でも心豊かなくらしができるのではないかと考え、まずは、顔見知りになり気軽に話し合える関係を育み、そしてはじめて支え合える関係になる、そうした地域共生の土台となる人間関係を健康マージャンというツールで育むものです。

補助金の使い道
講師を招いて、打合せ含め全9回の講義・実演指導を行い、その際の謝金及びテキスト代として使用。
講義は豊栄町生涯学習センターで実施し、延べ100人の参加があった。

達成できたこと
人口の少ない豊栄町でもこれまで接点のなかった人同士が健康マージャンを通じて顔なじみになった。
健康マージャンの初心者である地域センター職員にも参加いただき、今後各地域で展開できる体制を整えることができた。
令和7年度以降は町内一部自治協議会で継続して健康マージャンを取り組む動きが生まれた。

今後チャレンジしたいこと
令和7年度も引き続き健康マージャンの普及に努め、将来的に地域サロンでも健康マージャンを楽しむ人が増えることを目指して取り組みたい。

豊栄支所（この推進連絡会は自治協間で毎年度持ち回りで交代するため）

高屋町南部地域野生動物問題連絡会

情報の提供・相互交換による有害鳥獣予防対策並びに啓蒙活動、同支援

連携活動支援枠

活動内容

鳥獣被害対策に対して自分事として理解し取り組めるようにする。そのために以下3項目を実施する。

1. 兵庫県立大学自然・環境科学研究所　山端直人教授による地域で取り組む鳥獣被害対策研修会の開催
2. tegos中川氏によるわな狩猟免許取得者の初心者講習会の開催
3. 鳥獣被害対策可視化マップ作成を広島大学城間氏に委託

補助金の使い道

1. 鳥獣被害対策研修会の開催費11万円。
2, わな猟免許取得者の初心者講習会費10万円。
3, 鳥獣被害対策可視化マップ作成ソフト開発委託費26万円
4. 事務費他3万円

達成できたこと

鳥獣被害対策に対して自分事として理解し取り組めるようにする為、地元住民対象に勉強会を実施したが、多数の住民参加を頂けなかった。連絡会の対象より広範なメンバーが集まり、知恵を共有することができた。鳥獣被害対策可視化マップ作成ソフトの開発ができた。

今後チャレンジしたいこと

住民自治協、行政機関が連携して地域全体の問題として取り組めるようにしていきたい。鳥獣被害対策可視化マップ作成ソフトを活用し、鳥獣被害対策を地域で連携して進める。

西条住民自治協議会国際交流部会

西条地区住民と広島大学留学生との交流会

連携活動支援枠

活動内容
地域住民の皆様と外国人留学生の交流の機会を企画しました。

補助金の使い道
西条から志和（食協工場）まで、大型バス2台をチャーターし、工場見学参加費に補助金を使わさせていただきました。

達成できたこと
地域住民の人達も、留学生も、大変楽しく工場見学をさせていただきました。見学後広島大学の食堂で、皆んなで昼食会となり、食をテーマに、意見交換会を開催しました。地域住民も留学生も、交流出来たと大変喜んでいただきました。

今後チャレンジしたいこと
東広島市の人口の5%が外国人。
引き続き、地域の住民と（留学生）外国人との交流の機会を企画していきたいと思います。

showdem@bridge.ocn.ne.jp

暮らしのひとくちめ×ベジラボ

子育てへの「安心・楽しみ」創出のための東広島市官民子育て情報一元化マップの作成

連携活動支援枠

活動内容

【ビジョン】東広島において、「このまちなら子育てがし易そう」「このまちに住み続け（このまちに戻って）子育てをしたい」と思える、20～30代を増やす。【コンセプト】東広島において子育てをする上で受けられる支援・訪れやすい場所・楽しみ方の情報を、官民問わず集め一元化し、読み込む必要のないビジュアルで視覚的に伝わるマップを作成する。将来的な子育てに対し「安心・楽しみ」を想像できる機会を創出する。

補助金の使い道

MAPの印刷費、千葉県流山市おおたかの森駅周辺の視察・ヒアリング実施費

達成できたこと

現代の若い世代を代表し、忖度に染まらないまっさらな立場からの意見は、フラットな情報発信に生かされた。また、卒業研究としての可能性も見えてきたことから、東広島市の子育て事情がより学術的視点から把握・分析され、まちづくりに生かしていける可能性が広がった。

今後チャレンジしたいこと

今回集まった情報や完成したマップを元に、今後も多くの子育て関連施設との連携を深めていきたい。その活動の中で、マップにまとめる情報源を集め続け、さらに価値のある情報にブラッシュアップしていきたい。

@yasai_labo

（一社）健康づくりEネット東広島　東広島健康づくりウォーキング友の会

健康づくりウォーキングの充実（ウォーキングコース＆健康体操：地域間連携事業）

連携活動支援枠

活動内容

「ウオーキング」を軸に、地域の名所・旧跡、および歴史、産物（産業）、文化等、を基に「健康および観光」の視点から、ウオーキングコースを設置し、他の地域からの来訪者の受け入れによる地域間交流を図る。

今年度は、本市志和町（東志和、西志和、志和堀）の3地域を対象に、各地域の神社・仏閣はじめ、代表的名所（食堂等含む）を、ウオーキングコース地図面に配置。コースは、紙媒体およびQRコード活用の読み取り方式を併用。

補助金の使い道

・志和町3地域それぞれの歴史、文化、産業、等の収集資料をもとに、紙媒体での資料作成の経費。
・志和町3地域を1枚にまとめたコース一覧の「パネル（3地域：3枚）」作成経費（3地域センター用）
・「ウオーキング大会」等における、地域「ガイド・指導スタッフ」用の装備品（帽子、ビブス、旗、等）

達成できたこと

ウオーキングコース図作成は、東広島市内でのウオーキング月例会等（100回以上）で、経験があった。
しかし「3地域一覧図のコース図の作成」は、未経験で困難であった。しかし、コース図作成に、QRコード導入等、ウオーキングコース「作成経費」を抑制でき、コース一覧パネルの作成等ができた。

今後チャレンジしたいこと

今この度は、「ウオーキングコースの充実＆健康体操：地域間連携事業」として、「志和町全域・ウオ―キングコース」を作成した。本市の他・地域に応用できる貴重な経験です。各町・地域が有する魅力的資料を基に「健康＆観光ウオーキング」を軸に、「地域間交流：東広島ウオーキング大会」を推進したい。

次世代による東広島の原爆体験継承ネット

Monument Project

Digital Archives Project

次世代による東広島の戦争原爆体験継承

連携活動支援枠

活動内容

年間を通して、東広島における戦争、原爆に係る資料の収集、整理、デジタル化を行った。これらの資料に基づく次の継承イベントを、次世代(高校生中心に)が企画、実施した。
夏の活動として、八本松地域センター内の原爆死没者慰霊碑の清掃活動と次世代の企画によるピースイベントを実施した。
春の活動として、市民協働協働センターで戦争、被爆に係る朗読ならびに、次年度の活動計画等を発表した。

補助金の使い道

資料収集デジタル化、閲覧システム開発等に係る諸経費。
イベントに係る諸経費。

達成できたこと

最終的な目標は、次世代が主体的に平和のための継承活動を、考え、企画し、実施する体制作りである。
まずは次世代が東広島の戦争、原爆体験を知り、様々な手法で発信する。それの蓄積で下地が構築される。その段階は実現していると考えている。

今後チャレンジしたいこと

①次世代の特性を活かしたデジタルに視点をあてた活動についての検討、実施。
②東広島に残る慰霊碑、記念碑を活かした継承活動。
以上2つのプロジェクトを立ち上げ、次世代が主体的に活動する体制を構築したい。

info@pebehh.net
http://pebehh.net/